

防除情報「たまねぎべと病の発生に注意 しましょう」(3月15日)

3月上旬の巡回調査で、たまねぎべと病の発生が確認されました。6名の植物防疫協力員からも中～少発生が報告されています。

この病害は、気温15℃前後で雨が多い条件で発生しやすく、例年3～5月に多く発生しています

本年も3月に入って雨天の日が続き、これからの気温上昇に伴って増加する可能性があるため、注意が必要です。

特に昨年度も多発生したほ場では注意してください。

○発生が見込まれる時期には、以下の薬剤を予防的に散布してください。

- ・ランマンフロアブル
- ・ジマンダイセン水和剤、ペンコゼブ水和剤

○発生を確認した場合は、以下の薬剤を散布してください。

- ・リドミルMZ水和剤
- ・ホライズンドライフロアブル

◎防除薬剤については、

●Web版大阪府病害虫防除指針 (<http://www.jppn.ne.jp/osaka>)

●農林水産消費安全技術センター 農薬登録情報検索システム
(<http://www.acis.famic.go.jp/searchF/vtllm001.html>)

を参考

にしてください。

なお、薬剤の選定にあたっては、収穫前日数、総使用回数に注意してください。